

平成 3 0 年 月 日

小金井市長 西岡 真一郎 様

小金井市子ども・子育て会議
会長 松田 恵示

「のびゆくこどもプラン 小金井（小金井市子ども・子育て支援事業計画）」
事業進捗状況に対する平成 2 9 年度評価について（報告）（案）

本会議は、「のびゆくこどもプラン 小金井」（小金井市子ども・子育て支援事業計画）の推進にあたり、利用者側の視点に立った点検・評価を行うため、個別事業の進捗状況について鋭意審議を重ねてまいりました結果、別添のとおりまとめましたので、ここに報告いたします。

1 教育・保育施設

教育・保育施設の進捗状況について、別紙1「「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評価表1」をもとに審議を行った。評価として次の意見を申し上げる。

(1) 教育施設

① **幼稚園利用者のニーズを把握し、効果的な取り組みを行ってください。**

市外幼稚園利用者が多い理由について、市内の幼稚園不足以外にも理由があるのか等、幼稚園利用者へのニーズを把握し、効果的な取組を行っていただきたい。

② **今後の幼稚園のあり方について、市のビジョンを明確に示してください。**

保育ニーズの高まりから幼稚園から認定こども園への移行という潮流がある一方、幼稚園は地域の財産でもある。今後の幼稚園のあり方について、市でビジョンを明確に示していただきたい。

(2) 保育施設

① **3号認定の保育定員数が十分となるように、施設整備を進めてください。**

2号認定の保育定員数が十分になりつつある一方、3号認定に対しては不足しており、新園の開設が必要な状況にある。今後の3号認定の保育定員確保に伴って、2号認定の必要定員数増加が見込まれることも考慮のうえ、施設整備いただきたい。

② **小規模保育事業に関連する3歳以上の連携施設への進級枠の確保について、市の積極的な対応をお願いします。**

③ **保育の質の向上に留意してください。**

量の確保に努めていることは認めるところであるが、質の向上にも留意いただき、保育者の待遇改善、専門性の向上、キャリア形成支援など、ソフト面の改善も図っていただきたい。また、保育の質向上の一方策として、指導検査体制の充実を図っていただきたい。

④ **保育士の確保の方策を検討してください。**

公立・民間問わず保育士不足が問題となっているが、保育の質の確保に留意しつつ、潜在保育士の掘り起こし等、実績につながるような保育士の確保方策を検討いただきたい。

⑤ **認可と認可外保育施設における格差是正を進めてください。**

認可と認可外との格差是正については、保育料のほか保育環境においても改善が望まれるところであり、国や東京都への働きかけを行い、積極的に進めていただきたい。

2 地域子ども・子育て支援事業

地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について、別紙2「「のびゆくこどもプラン 小金井」(小金井市子ども・子育て支援事業計画)事業進捗状況評

評価2」をもとに審議を行った。評価として次の意見を申し上げる。

(1) 利用者支援事業〔特定型〕

近隣市で行っている出張コンシェルジュ（保育園・グループ向け）や土曜コンシェルジュ（市役所・個別相談）など、利用者の都合に合わせた事業展開例を参考に、事業内容の拡充を検討いただきたい。

(2) 利用者支援事業〔母子保健型〕

家族形態が変化し、周囲に相談・支援を得られない妊婦も増加している中での相談支援であり、大変有用な事業である。

(3) 延長保育事業（時間外保育）

延長保育については、保護者の就労状況等も考慮した時間設定にしていきたい。また延長保育における保育内容の質の向上もお願いしたい。

(4) 放課後児童健全育成事業（学童保育）

入所希望者について全入を維持していることは評価すべきであるが、今後更なる需要増は必至であり、いつまでも定員超過による受け入れを続けるわけにはいかない。全入の安心感を保持するため、放課後の余裕教室の活用なども視野に入れ、今後の量的拡充の実現に向けた具体的な対応策を早急にまとめていただきたい。同時に、子どもたちが安心して過ごせる居場所となるよう、適切な指導員配置を行い、子ども集団の規模の上限をおおむね40人以下として、必要な学童保育を増やす方向で進めていただきたい。

(5) 放課後子ども総合プラン事業

放課後子ども総合プランは、計画上平成31年度末までの整備を予定していることから、近隣他市の良いところを取り入れ、早急に全体像を提示いただきたい。放課後子ども教室と学童保育の連携をより深めることにより、学童保育所に通う児童を含めた全就学児童に対してよりよい放課後サービスを提供していただきたい。

各小学校での取組みを質・量ともに向上させていくために、スタッフへの謝礼の見直し、スタッフの人材確保、余裕教室の確保等に努めていただきたい。現状は、年間予算1,000万円程度に留まっており、スタッフはボランティア頼みで、謝礼額も拘束時間に対し非常に少ない。開催日数や内容も各小学校で偏りがある。

(6) 乳児家庭全戸訪問事業

切れ目のない支援に係る事業であり、2人目以降の子を持つ世帯でも改めて訪問を希望するような充実した内容であることを積極的に広報いただきたい。

(7) 地域子育て支援拠点事業

地域の子育ての質的な支援・支え合いを進めている点を評価したい。特に児童館の子育てひろばで、保育士、看護師らによる相談会等が開催されていることは意義深い。今後も積極的な広報を行い、さまざまな子育て支援を行

う地域の拠点として盛り上げていただきたい。

また、利用者へのヒアリングに基づき、利用者の増加や満足度向上に努めていただきたい。

(8) 一時預かり事業

相変わらず予約が取りにくい現状に鑑み、定員枠の拡大について検討いただきたい。

(9) 病児保育事業、子育て援助活動支援事業（病児・緊急対応強化事業）

施設型の病児保育事業は施設へのアクセスの観点でどうしても格差が生じることから、訪問型病児保育利用者への助成金支給やファミリー・サポート・センター事業における病児・緊急対応強化事業の実施など、施設アクセスによって格差が生じない支援方法についても次期計画を見据え検討いただきたい。

また、病児保育事業の情報提供について、近隣市の情報を含めた形で行えないか検討いただきたい。

3 子ども・子育て支援施策

子ども・子育て支援施策の進捗状況及び点検・評価の結果は、別紙3「のびゆくこどもプラン 小金井」（小金井市子ども・子育て支援事業計画）事業進捗状況評価表3」のとおりである。

全体として、A評価が概ね2／3、B評価が概ね1／3であったが、来年度は計画期間後期を迎えることもあり、今後はA評価が一層増えるとともに、C評価及びD評価がなくなるよう事業進捗いただきたい。

また、計画記載の各事業について、「評価の方法」欄の記載に疑義があるものや、「目標値・実施内容（平成27～31年度）」欄の記載に具体性がないものがあり、どのように評価すべきか判断に窮する事業が見受けられた。次期計画策定時には、事業目的を達成するために実効的な計画となるよう、成果目標と取組目標を記載するなど、評価のあり方について再検討いただきたい。また、総花的な評価とならないよう、重点項目を設定したうえで評価するよう検討いただきたい。